

IAA Alliance 2004 年度事業計画

2004 年 5 月 12 日(水)

IAA Alliance

IAA Alliance として、2004 年度に行う活動は以下とする。

1. 概要

今年度はワーキンググループを中心として、前年度の活動実績をもとに引き続き IAA Alliance の活動を行いたい。特に、組織強化のための行動および外部への啓蒙活動を中心に、2004 年度の活動を推進する。

2. 運営委員会の活動

2.1 活動方針

組織強化のための行動および外部への啓蒙活動を中心に、2004 年度の活動を推進する。

2.2 活動内容

月一回の割合で運営委員会を開催し、各種議題に対して意思決定を行うとともに、必要に応じて、意見調整を行うための会合を別途開催する。また、自治体等との連携を模索しつつ、共同実験などを通じて IAA システムの利用を働きかけてゆく。

2.3 活動目標

ワーキンググループを主体に各種公開実験、イベントへの参加、相互接続性実験等の各種実験を成功させることを目標とする。

2.4 活動計画

下記の各種作業を行う。

2004 年 4 月～5 月 総会準備

2004 年 4 月～6 月 日本透析医学会特別展示出展準備

2004 年 4 月～9 月 在外公館等安否確認アンケート調査

2004 年 7 月～9 月 東京都合同総合防災訓練準備

2004 年 11 月～2005 年 1 月 総合防災訓練準備

2005 年 1 月～3 月 総会準備

随時 緊急対応活動

3. 各ワーキンググループ(WG)の活動

ワーキンググループとして、以下の活動を実施する。

3.1 外部戦略ワーキンググループ

3.1.1 活動方針

外部戦略ワーキンググループとしての各種活動を行う。

3.1.2 活動内容

活動計画に従い、活動目標を達成する。

3.1.3 活動目標

来年度は、引き続き IAA システムの対外戦略を推し進める。また IAA システムの利用促進プログラムとして、緊急対応版 IAA システムとは別に常時運用 IAA システム、携帯電話 IAA システムの開設を行う。また、昨年引き続き対外 EVENT を積極的に行うことで IAA の知名度を上げてゆく。

3.1.4 活動計画

2004 年 4 月～2005 年 3 月 各種団体との共同による IAA の展示・デモ・セミナー参加

2004 年 8 月 常時運用 IAA システム、携帯電話 IAA システムの開設

2004 年 10 月 自治体・企業での IAA システム利用促進に関する基本調査開始

2004 年 12 月 大阪 iDC を利用した IAA システム-ASP 利用の基本調査開始

3.1.5 リーダー

サン・マイクロシステムズ株式会社(担当：佐藤正晃)

3.2 標準化ワーキンググループ

3.2.1 活動方針

標準化ワーキンググループとしての各種活動を行う。

3.2.2 活動内容

活動計画に従い、活動目標を達成する。

3.2.3 活動目標

2003 年度は、IAA システム間のデータ交換フォーマットの標準化案第 1 版の策定に向けた準備を進めてきた。今年度は、WG で議論して策定した第 1 版を IAA Alliance 会員内に公開し、相互接続性 WG と協調して、まず、2 つの IAA システム間での相互接続性検証を実施する。この結果を受けて更に標準化の策定を進め、国際化を考慮したデータ交換フォーマットとして拡張し、複数の IAA システム間での相互接続が可能となる様に標準化を行う。同時に、IAA Alliance 会員外にも標準化フォーマットの提供を行っていく。

3.2.4 活動計画

2004 年 4 月中旬まで

IAA システム間交換フォーマットの標準化第 1 版の策定
(IAA Alliance 会員内への公開、2 つの IAA システム間での相互接続試験)

2004 年 7 月中旬まで

IAA システム間交換フォーマットの標準化第 1 版の策定
(3 つ以上の IAA システム間での相互接続試験)

2004 年 11 月中旬まで

IAA システム間交換フォーマットの標準化第 1 版の策定
(国際化を考慮した format の策定)

2005 年 3 月上旬まで

IAA システム間交換フォーマットの標準化第 1 版の策定
(IAA Alliance 会員外への公開)

3.2.5 リーダー

中山 雅哉 (東京大学情報基盤センター)

3.3 相互接続性ワーキンググループ

3.3.1 活動方針

相互接続性ワーキンググループとしての各種活動を行う。

3.3.2 活動内容

活動計画に従い、活動目標を達成する。

3.3.3 活動目標

2003 年度は、標準化ワーキンググループで策定された IAA システム間の交換データフォーマット（第 1 版）に基づき、2 つのシステム間(Monster IAA <=> NetStar IAA)での相互接続実験を行なった。

2004 年度は、上記以外のシステムの参加を募り、3 システム以上での相互接続実験を行なう。また、相互接続する際の運用面での問題点について議論し、IAA システムの運用ガイドラインの策定を目指す。

3.3.4 活動計画

2004 年 5 月 相互接続検証実験

2004 年 5 月末まで IAA システム運用ガイドライン第 1 版策定

2004 年 8 月上旬まで

IAA システム間交換フォーマット第 1 版の実装面での検討および実装

2004 年 9 月上旬まで 相互接続検証実験

2005 年 1 月中旬まで

IAA システム間交換フォーマット第 1 版の実装面での検討および実装

3.3.5 リーダー

有限会社インターネット応用技術研究所（担当：丸山 太郎）

3.4 ユーザインターフェースワーキンググループ

3.4.1 活動方針

ユーザインターフェースワーキンググループとしての各種活動を行う。

3.4.2 活動内容

活動計画に従い、活動目標を達成する。アクセシビリティ改善に伴うコスト増加部分について協議し、コストとアクセシビリティとの調和をはかる。

3.4.3 活動目標

来年度は、Web、FAX、携帯電話などのユーザインターフェースのアクセシビリティを改善するため、ガイドラインを早急にまとめるとともに、既存の IAA システムの登録検索ユーザインターフェースに対してガイドラインを適用することにより、アクセシビリティを改善してゆくことを目標とする。また、Web 以外のアクセシビリティに関しても検討し、改善を試みる。また、在日公館等に IAA システムの国際化に関するアンケートを配布し、国際化に関する基礎資料を得る。

3.4.4 活動計画

2004 年 6 月 日本医療透析学会特別展示出展

2004 年 10 月 IAA システムの登録検索ページに対するガイドラインの適用および評価

2004 年 9 月 在日公館等に IAA システムに関するアンケートを配布

2005 年 3 月まで アクセシビリティガイドラインの完成

3.4.5 リーダー

情報通信研究機構情報通信部門セキュアネットワークグループ

(担当：海老名 毅)

3.5 緊急対応ワーキンググループ

3.5.1 活動方針

災害などが起きたときに、緊急対応を行う。

3.5.2 活動内容

災害などが起きたとき、要請に応じて IAA システムを立ち上げ、保守し、また必要がなくなれば停止する。

3.5.3 活動目標

今年度は、災害などが起きたとき、要請に応じて IAA システムを立ち上げ、保守し、また必要がなくなれば停止することを目標とする。

3.5.4 活動計画

必要に応じて、IAA システムを運用する。

3.5.5 リーダー

情報通信研究機構情報通信部門セキュアネットワークグループ

(担当：海老名 毅)

4.事務局の活動

4.1 活動方針

運営委員会、総会、各種ワーキンググループの活動をサポートする。

4.2 活動内容

以下の活動を行う。

4.2.1 会員に関する作業：

会員の入会、退会に関する事務作業、アナウンスなど。

4.2.2 会費に関する作業：

会費の徴収、催促、管理、各種代金の支払い、会計収支の確認、会計報告書の作成など。

4.2.3 運営委員会関連作業：

運営委員会の日程調整、アジェンダ、資料の作成、テレコン準備、議事録の作成など。

4.2.4 総会関連作業：

総会の日程調整、アジェンダ、資料の作成、テレコン準備、議事録の作成など。

4.2.5 対外活動：

一般問い合わせ(マスコミ等)対応、問い合わせログの作成および運営委員会などへの報告、イベントの対外発表、マスコミ発表用資料の作成、ホームページの管理、メーリングリストの作成および管理、削除など。

4.2.6 各種手続き：

事務局長依頼文書の作成、参加組織からの問い合わせへの対応、各種文書フォーマットの作成、各種イベントの会員への周知、イベント参加結果の取りまとめなど。

4.2.7 ワーキンググループ関連作業：

ワーキンググループの作成手順を明確化するとともに、各ワーキンググループ開催の連絡、活動状況の把握、活動結果のとりまとめ作業を行い、定期的にレポートにまとめ、会員に周知する作業。また、各ワーキンググループと協力し、事務作業を代行する作業。

4.2.8 その他：

必要に応じた、適切な事務作業。

4.3 活動目標

運営委員会、総会、各種ワーキンググループの活動をサポートする。

4.4 活動計画

適切な時期に各種作業を適宜処理する。

IAA Alliance 2004年度活動スケジュール

	2004年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2005年 1月	2月	3月	
運営委員会 (回数は委員会開催 を示す)	第4回総会準備	東京都合同総合防災訓練準備						総合防災訓練準備			第5回総会準備		
	日本透析医学会参加対応	在外公館等安否確認アンケート調査											
		第 17 回	第 18 回	第 19 回	第 20 回	第 21 回	第 22 回	第 23 回	第 24 回	第 25 回	第 26 回	第 27 回	
外部戦略WG		日本透析医学会 参加対応		まちづくりワークショップ参加検討			大阪iDCを利用したIAAシステム-ASP利用の基本調査						
		防災の日関連行事参加検討			自治体・企業でのIAAシステム利用促進に関する基本調査			常時運用IAAシステム 携帯電話IAAシステムの開設					
標準化WG	IAAシステム間 交換フォーマット の標準化 第1版 の策定	IAAシステム間交換フォーマットの 標準化第1版の策定			IAAシステム間交換フォーマットの 標準化第1版の策定			IAAシステム間交換フォーマット の標準化第1版の策定					
相互接続WG	IAAシステム運用 ガイドライン 第1版策定	IAAシステム間交換 フォーマット第1版の 実装面での検討および実装			IAAシステム間交換フォーマット第1版の 実装面での検討および実装								
		相互接続 検証実験			相互接続 検証実験								
ユーザ インターフェースWG		日本透析医学会 参加対応		IAAシステムの登録検索ページに対す るガイドラインの適用および評価			アクセシビリティガイドラインの完成						
		在外公館等安否確認アンケート調査											
緊急対応WG	災害時のIAAシステムの立ち上げ・保守、終息時の停止												
イベント		第4回総会	日本透析医学会参加				まちづくりWS参加				総合防災訓練参加		
		東京透析医学会参加 在外公館等安否確認アンケート調査			まちづくりWS参加								

以上